

2025 年 1 月 15 日

**オリンパス、チリの医療機器販売大手 Surmedical 社の
オリンパス製品販売事業を買収
自販体制でサービス強化、南米事業を拡大へ**

<ご参考：OLA ニュースリリース抄訳>

(現地時間：2025 年 1 月 14 日)

オリンパスの中南米における地域統括会社である Olympus Latin America（以下、OLA）は、チリ・サンティアゴに拠点を置く医療機器販売大手 Sur Medical SpA 社（以下、Surmedical 社）から、オリンパス製品の販売事業の買収を完了しました。この買収により、OLA は新たな子会社「Olympus Corporation Chile」を設立し、同社のもとで医療機器の自社販売を開始します。当社は成長が著しいチリのヘルスケア業界において、製品とサービスをより効率的に自社販売することで、医療従事者と患者さんのニーズに応えてまいります。



新設された Olympus Corporation Chile の拠点

Surmedical 社（サーメディカル）は 10 年以上に渡り、チリでのオリンパスのパートナーとして、当社の消化器分野におけるリーダーシップの確立に貢献しました。また、オリンパスの内視鏡処置具市場におけるプレゼンスや、信頼性のある医療機器の修理サービスを構築してきました。

Surmedical 社のオリンパス製品の販売事業を買収することで、当社は今後チリにおける自社製品の販売と事業戦略を直接展開し、業務効率化とカスタマーサービスを強化してまいります。チリにおける新たな医療機器の市場導入を加速し、ヘルスケア業界で信頼性の高いパートナーとしての地位を強固なものにしていきます。

▪ **Olympus Latin America 社長 Jose Gaston（ホセ・ガストン）コメント**

「Surmedical 社のオリンパス製品の販売事業の戦略的買収は、当社がチリで事業活動を行うための強い基盤となります。Surmedical 社のもとでオリンパス製品の販売に尽力してくれた優秀なセールス、マーケティング、サービス、トレーニングの各チームを、Olympus Corporation Chile に迎えることを心待ちにしています。今後、チリでオリンパス製品を直接販売することで、同国の医療従事者と患者さんに一段と貢献してまいります。」

▪ **Surmedical 社 創業者兼オーナー Patricio Fuenzalida 氏（パトリシオ・フエンザリダ）コメント**

「オリンパスのチリ進出を歓迎します。事業継続の支援という共通の目標のもとで、今後ともオリンパスおよび同社の新しいチリのチームと密接に連携し、円滑な引き継ぎと業務の統合に努めていきます。」

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスについて

オリンパスは「私たちの存在意義」として掲げる、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を目指しています。世界をリードするメドテックカンパニーとして、私たちは医療従事者の方々と共に、病変の早期発見、診断、そして低侵襲治療に役立つ最適なソリューション・サービスの提供を通じて対象疾患における医療水準の向上に貢献してまいります。創業から100余年、オリンパスはこれからも世界中のお客様に最適な価値をもたらす製品を提供することで、社会への貢献を目指します。詳しくはオリンパスの公式サイト（www.olympus.co.jp）ならびにX（[@Olympus_Corp_JP](https://twitter.com/Olympus_Corp_JP)）をご覧ください。



< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コミュニケーションズ 担当：上江
TEL：070-2629-2739 メールアドレス：Global-Public_Relations@olympus.com
- ホームページ：<http://www.olympus.co.jp>